

【別紙様式3】

再評価実施事業調書

番号	3	事業名	社会資本整備総合 交付金		路線又は箇所名等	国道464号北千葉道路			
事業所管課	道路整備課		事業主体		千葉県				
事業化年度	H17	用地着手年度	H17	工事着手年度	H18年度	再評価の理由	②		
				工事終了(認可)年度	H30年度				
費用便益比 B/C	1.8	総費用	783 億円	総便益	1,442 億円	基準年	H23年	供用開始 年度	H31 年度

【事業概要】

一般国道464号は、千葉県松戸市から千葉県成田市までの延長約43kmの路線で、千葉東葛飾地域と成田地域を結ぶ重要な道路である。北千葉道路は、首都圏北部と成田国際空港のアクセス時間を大幅に短縮する新たな道路アクセスルートとして都市再生プロジェクトに位置付けられている4車線道路であり、そのうちI期区間として、印西市若萩から成田市北須賀まで約4.2kmを県で、成田市北須賀から成田市押畑まで約5.6kmを国がそれぞれ事業を実施しているところである。

【事業の進捗状況】 直轄施行区間除く

	県施行区間 (I期)	投資済 (平成23年度まで)	残
延長(km)	4.2	—	—
事業費(億円)	420	249.5(59%)	170.5
うち用地補償費	25.9	22.6(99%)	3.3
うち工事費	394	226.5(57%)	167.2

※( )内は進捗率を示す。ただし、用地補償費については面積ベース

【社会経済情勢等】

- ・北千葉道路は、都心と成田国際空港間のアクセス強化のみならず、成田・千葉ニュータウン業務核都市の骨格交通軸として地域の活性化を図る上からも必要不可欠な道路であることから関係7市の首長等からなる北千葉道路建設促進期成同盟会より整備促進の要望を受けいている。
- ・救急医療活動の支援に寄与するとともに、緊急輸送道路である一般国道464号が通行止めになった場合の代替路線を形成する。
- ・用地取得率は県区間で99%(H23年10月末現在)に達しており、ほぼ完了している。
- ・県施行区間は、平成18年度から工事に着手し現在、橋梁工事を実施しているところであり、引き続き、残る用地取得、工事を実施し、早期に供用を目指している。
- ・早期の事業効果の発現を目指し、印西市若萩～成田市松崎までの8.4km区間については、平成28年度の部分供用を目標としている。

【対応方針】

・北千葉道路は「成田国際空港へのアクセス強化」に資する道路整備として位置づけられ、地域経済の発展、交通処理能力の向上、救急医療・防災機能の強化にも寄与することから、事業の必要性・重要性が高く、早期に整備し、効果発現を図ることが重要であることから、事業継続とする。

